

チェコの小型犬プラシユスキー・クリサジーク

チェコ共和国原産の小型犬プラシユスキー・クリサジークをチェコと協力してブリードしている PKJ
プラシユスキー・クリサジーク・クラブ・オブ・ジャパンのブログ

親子の顔合わせ

2020.03.11 Wednesday

プラシユスキー・クリサジークは日本だけでなく世界中でまだまだ数の少ない犬種です。

公園を散歩中、
ドッグランに行ってみたら、
観光地をブラブラしていたら、 クリサジークとたまたま出会う・・・
そんな奇跡は滅多に起こりません。



でも数が少ないがゆえに血統管理はしっかりとできています。

お父さん犬、お母さん犬、兄弟犬。そして祖父母犬も。
どこに住んでいて、どんなお顔なのか。
性格は？
病気は？

小さくても家族の一員。
気になることはたくさんあります。

先日 お父さん犬と初対面した子がいます。

お互い顔を合わせるのは初めてで、最初こそ緊張気味でしたが、
血のつながりが分かるのか「クンクン・・・」とお互い匂いを嗅ぎ合っていました。

何を話していたのでしょうか。



クリサジークのお里では
巣立った子が遊びに来てくれることをいつでも待っています。

PKJ に新メンバー

2019.12.11 Wednesday

先日、チェコからヤスミン君がやってきました。
少し小柄なキュートなイケメンです。
チェコではおばあちゃん、ママ、兄弟と草原を駆け回っていました。
2018年生まれの1歳半。



名前を呼ぶと寄ってきて甘えてくれます。
性格も安定した、とても頼れるお父さんワンコになれそうです。



チェコから新しい犬達が来ています

2017.07.18 Tuesday

今年の春、
チェコ共和国から
新しいクリサジークが
2頭、PKJの仲間に
加わりました。

一人は女の子。
メルレの毛並みが綺麗です。



もう一人は男の子。
優しい顔で穏やかです。



チェコから犬を迎えるには、
検疫の関係で、チェコの方に
予防接種やら飛行機やら
スケジュール的に、ほぼ1年かかる
様々な手続きをお願いせねばなりません。

PKJ では、信頼がベースの
人間関係を築いて来ました。

今の若犬達は、
将来、日本のクリサジークの
先祖になる可能性の
ある犬達です。

チェコで大切に
育てていただいたように
日本にバトンタッチして
もらってからも、
心身健やかに育つよう心掛け、
大切に育てています。

今昔物語ハニーちゃんご一家編

2013.11.20 Wednesday

PKJは、10月10日に
10周年を迎えました。
これを記念し、
ブログで「今昔物語」を展開しています。

今回は、ハニーちゃんご一家です。
ハニーちゃんはチェコからやって来たワンコ。
では、飼い主さんにご紹介いたしましょう。

*** *** ***

チェコからやってきた
ハニーから生まれたアニーとアーチャです。



ハニーちゃん



生まれた頃のアニー君アーチャ君

ママは、誕生3日で
天国にいてしまいましたが、
スクスク育ってくれました。



幼い頃のアニー君とアーチャ君

山口お母さん@PKJ 代表が、
心配してガーインカを預けてくださり
ママになってもらいました。



アニー君とアーチャー君を立派に育てた
ガーインカちゃん(右)

チェコから日本にやってきた
初めてのクリサジーク・ガーインカは、
15歳8カ月になりました。



若々しくて綺麗なドレスがお似合いですね♪

*** *** ***

そうそう、
ガーインカちゃんが
日本にやって来た時、
テレビ番組「アンビリーバボー」に
取り上げられたんです。
写真週刊誌にも出ましたよ。

クリサジーク、来日当初は
誰も見たこと無いのに
とても有名でした^^V

↑

もう少し皆さんに
覚えていただけるお名前だったら
良かったかな・・・^^;

今昔物語ラスカちゃん編

2013.10.17 Thursday

PKJ、今月は10周年記念月。
ブログで「今昔物語」を展開します。

今回は、ラスカちゃん。
飼い主さんのお家へ来た頃
のおすまし写真。



我が家にきて間もない頃に骨折し、
当初はずいぶん落ち込み、
自責の念にかられましたが、
それ以降は小さな体ながら
風邪ひとつ引かず健康にここまで
育ってくれました。

これからも健やかに穏やかに
齢を重ねてくれることを願っています。
by 飼い主

そして今、
なぜかカメラ嫌い...という
6歳の彼女です。



(なかなかの美人さんですね♪)

親睦会では、いつも可愛いお洋服で
キラキラしてたラスカちゃん。

またお目に掛かれるのを
楽しみにしていまーす！

子犬紹介/ほたるちゃん

2011.02.22 Tuesday

あっという間に
日々が過ぎて行きますね。

子犬達も伸び伸び成長中☆

今日は、昨年8月生まれの
「ホタル」ちゃんをご紹介します。

ホタルちゃんは、18日に生後6ヶ月となりました。



キュートでお子ちゃまな表情が
とっても可愛いです。

しっかりゴハンも食べていますが、
もともと小柄な上に活発で
今でも体重が1.2Kg位のおチビちゃんなのだそう。

繁殖者さんのお家には、
何頭ものワンコがいらっしやるので
大好きなおやつをもらう時は、
大きいお姉ちゃん達にとられないよう、
急いで物陰に隠れ、
大丈夫とわかってから
じっくり堪能してるんだそうですよ。

クリサジークは、ストレスと孤独に弱いと
言われていることや、
俊敏で、目を離すと家庭内で事故を起こしがちなため、
子犬のうち、長時間一人でお留守番をしなければ
ならないご家庭には、お譲りできておりません。

でも、ホタルちゃんのように
自分のことや周りのことが
わかりはじめる年齢に達していると

数時間のお留守番もこなせる可能性も出てきますね。

初めての誕生日♡

2010.03.01 Monday

嬉しい便りが届きました。
会員犬の初めての誕生日の様子です。

なんと、ワンコ用オーガニックケーキに盛りだくさんのプレゼント！
おいしそー！
息子さんとおそろいのお洋服もとってもお似合いです。



お便りには

「今日まで怪我なく無事にお誕生日を迎えられて本当に嬉しい限りです。」

とありました。
本当にそうだな、と、しみじみ。



盛りだくさんのプレゼントに目が釘づけ……。

無事大きくなってくれてありがとう。

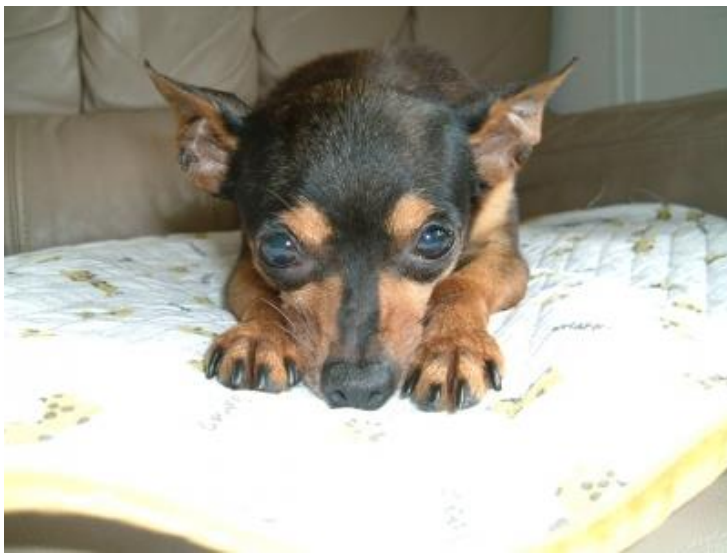
こんなに大切にさせていただいて・・・いつも親戚のおばちゃん状態の私は、「なんだか、わたしもうれしい」でした。

おはよう

2010.01.15 Friday

朝起きて、仕事用の PC を立ち上げると、この写真が画面いっぱいに見える。

「おはよう、今日も元気にしているかね？」
そんな気持ちで毎日この写真をしばし見つめる。



訳あって今は離れて暮らしているガーインカだが、
彼女は遠くで優しい家族に囲まれて毎日のんびり、幸せに暮らしている。

現在 12 歳、健康パワフルおばあさんで
お医者様にも「悪いところなし！」と太鼓判を押されている。
ずっと昔、TV「アンビリーバボー」にも出演経験のある
日本初のクリサジークでもある。

活発で明るく、少々おっちょこちよい。
母性本能が強く、とても優しいお母さんで、良い子をたくさん育ててくれた。

子犬が大好きで、よその子だってかわいくて仕方がない。
愛情深く、せっせせっせとお世話をした。

今でもよく、ガーインカに初めて会った時のことを思い出す。
12年前、クルクルと大きな瞳、まだ生後2ヶ月の小さな子犬だった。
嬉しそうに部屋の中をピョンピョンとび跳ねながら走る姿は、
まるでピーターパンに出てくる「ティンカーベル」のようだと思ったものです。

こんな犬種があるんだと、彼女と出会って私はクリサジークを好きになった。
彼女から始まった日本のクリサジーク。

これからも健康に、長生きしてね。
一年一年、ゆっくりと歳を重ねよう。

また会うことを楽しみに。

遠いチェコから

2009.03.19 Thursday



クリサジークのルーツはチェコ共和国。
この美しいクリサジークも6年前に海を渡ってきた。

ヨーロッパからアジアに来たのだから、周りのものすべてが初めてで、
匂い、温度、味、言葉。
さぞ心細かったに違いない。

チェコで生まれた彼女も今、日本の家庭でとても幸せに暮らしている。

そして、もうすぐ私のもとにも、待ちわびていたクリサジークがチェコからやって来る。
膝に抱いて、たくさん「いい子だよ。」と話しかけてあげよう。

もちろん最初はチェコ語でね。
それから、おいしいものも食べさせてあげよう。
そして、少しずつ日本に慣れて、日本の子になってほしいと思う。

遠いチェコから不安いっぱいに来るのだから、
一生大切に、楽しいことをたくさん経験させてあげたいと思う。

おしっこを見て泣く!?

2009.03.05 Thursday

今朝、リタのおしっこを見たらじわっと泣けてきた。

涙は拭っても拭っても出るので、
今度は急におかしくなって一人で笑ってしまった。

私、おしっこを見て泣いてるんだ…。

リタはもう10歳。
チェコから一緒に帰ってきた我が家の古株。
いろんなことを教えてくれた、私の同士のよう存在。

彼女は以前からたまに膀胱炎を発症していたが、
今回はとてもひどくて、おしっこはしばらく前から赤かった。
頻繁にトイレに通い、体調の悪い様子。

小さい体で、こんなに出血が続いて大丈夫なんだろうかと
不安な毎日が続き、
一時はずいぶん痩せてしまって。
私はリタが気にしないよう、
こっそりトイレの様子をチェックする日々を送っていた。

結石かな？腫瘍がある？
手術が必要かも!?

脅かされながら、投薬での長期治療が続いていた。

で、なんで泣けたかというと、
今朝のおしっこは明らかに
正常な色に近かったのだ。
それだけ。

結局、症状は一進一退で、
でも薄皮を剥がすようにほんの少しづつ良くなっている。

大事な大事なリタ。

まだまだ治療は続くけれど、
がんばろう！



外トイレは気持ちが良いね

エクストリーム

2009.02.26 Thursday



エクストリームとは愛犬と飼い主が組んで行う障害物競技のこと。
見てください、彼の凛々しい姿。
背丈の倍以上もある障害物を見事に飛び越えています。
尻尾にも力が入って、ちゃんとバランスをとっているのですね。
楽しんでる表情がとっても嬉しくて、誇らしくて
たくさんの方々にご紹介したくなりました。



こんなスポーツを楽しんでいるクリサジークもいて、
これも典型的なクリサジークの姿なんですね。
こういうこと、とっても好きなんだと思います。

チェコでもアジリティーが盛んで、
クリサジークはアジリティーに向いていると言う人もいます。
会員の集まりの時、デモンストレーションを行った方がいて、
会場では賛否両論だったのを覚えています。

反対意見は

「小さく華奢で活発なクリサジークには骨折などの事故が心配だ。」というもの。

もちろん、体のサイズや年齢、性格を考慮して行うべきで、
どの子でも出来るというものではない。
でも、エネルギーの塊りみたいな子は、こうやって外で十分体を動かせば、
家の中ではゆったりと暮らせるのではないだろうか。



クリサジークと言えば、その昔、貴族の愛玩犬として膝を温めたり、
一般家庭のネズミ取りとして活躍していたり。

現代のクリサジークはどうだろう。
膝の上が大好きなのはすべての子に共通するが、
明るくて遊び好きの子が多いかな。
まったりとおとなしく密着系の子もたくさんいる。
どちらも典型的なクリサジークの性格だ。

こんな凛々しい姿を見せてくれるようになった彼も
家ではママの膝を占領しているに違いない。
何であれ、楽しみをもって暮らしていると愛犬は
こんな生き生きとした表情を見せてくれるんですね。



2009.02.12 Thursday



去年の10月にご紹介したポルダが元気な男の子を2頭産んだ。
その1頭がブルーノ。
ちょっと小ぶりですが陽気なクリサジークらしいクリサジーク。
チェコの人はキミのような子がきっと大好きだよ。

すぐハイテンションになって
「抱っこ〜！」
と、足をよじ登ってくる。
両手で支えながら様子を見てみると、膝まで到着してもまだ登る。
危ない危ない。

顔のまん前でちょっと嬉しそうに挨拶して、
放っておくとまた登っていく。
肩を通り越して頭を乗り越えて・...。
あなたの目標はどこなの？
危ない危ない。

ブンブンしっぽを振って、ニコニコと私を見上げる姿はママそっくりだよ。
明るくて、小さいのに自信家で、そんなところはパパに良く似ているね。
キミが大人になるのを楽しみにしているよ。



私「ブルーノ、耳が裏返ってるよ。」

ブ「うん、メロディーがよく聞こえるように
お姉ちゃんがやってくれたんだよ。」

私「……？」

チャーミング♡ポルダ♡

2008.10.26 Sunday

翔と写真に納まっているのはポルダ。
なんだか、嬉しそうだね。

90センチの柵も器用に脱出する、スポーティーなクリサジークです。
こう見えても来月初めにお産を控えています。
ほら、ちょっと太めでしょ。



二人で何をクンクンしている？
ほのぼのな秋です。

ティナと翔

2008.10.09 Thursday

ティナは我が家初代のクリサジーク。
10歳のおばあさんだ。
食べるのが大好きで、ちょっと(じゃない、かなり)太めが、たまにきず。
愛情に満ち溢れたその性格で周りに幸せな空気を運んでくれる。

翔は保健所からボランティアの手によって助けられたラブラドル。

小さな子供や他の動物が苦手。
我が家の一員になったばかりの頃、
知らない人が「あ〜っ、可愛い〜！」なんて近づいてくると
気付かぬふり、あらぬ方向を見る。
頭でも撫でようものなら、必死に耐えているのがわかった。

彼が我が家に来てすぐに、ティナはこうやって嬉しそうに彼の隣で寝た。
本当はもっとくっついていたいのだが、そうすると翔はビックリして飛び起きる。
で、仕方なしのこの微妙な距離・・・。
翔はこんな小さいティナが怖かった。



あれから1年半、ティナの好意に満ちた眼差しと身体のぬくもりが翔の心を解きほぐしてくれた。

今ではぴったり寄り添って寝ている。
まるで昔からそうしていたように。

ティナが「好きよ」と言わんばかりに背伸びをしてキスをすると、
翔はまんざらでもないような顔をしている。

うれしそうに小さなクリサジークについて歩く翔の後姿を見ると、
ティナに感謝の気持ちで一杯になる。

犬との日常は私にこんなじんわりとした幸せを与えてくれる。

美しいもの

2007.12.12 Wednesday

なんとも美しいクリサジークではないか。
私の好きな一枚。

彼のすばらしい成長を見ると嬉しさと同時に、今までの様々なことが蘇り
なんとも一言では言い表せない気持ちになる。

この子にかかわりのある人々の顔や
母犬との出会い、そして誕生。
それから…あれも、これも。

確かに血は受け継がれている。

日本のクリサジークのルーツとなってゆく1頭である。



おりこうさん？

2007.12.05 Wednesday

クリサジークは学習能力が高いといわれている。
日々の生活の中でもそう感じることが多い。
しかし、彼は特別すごい。

普段は河原を走り回る健康的な生活を送っているが、なんと、
言葉を40以上も理解しているというのだ。
確かに飼い主の言葉に反応し行動しているのがよくわかる。
それも集中させ指示する言葉ではなく、家族の日常会話に反応する。

文章も理解できる。
「ここでは○○では遊ばないのよ。あとでね。」なんていわれて
「ふーん、なーんだ。」という顔もする。

堂々と落ち着いた様子も子犬の時には想像できなかった。
こういう事には飼い主との生活の質が大きく関係していると思う。

嬉しい再会だった。



おっきくなったウェンディー♪

2007.05.30 Wednesday

我が家の太陽だったウェンディー、巣立ってから一月半。
嬉しい写真が届きました。
飼い主さんとお出かけ時のワンショットです。
新しい素敵な名前も付けてもらって、すっかりよその子になりました。



もうすぐ生後5ヶ月。
こんなに大きくなったのねえ♪
クリサジークのチャームポイントといわれる大きな立ち耳も立派です。
いまだにとても元気に走り回っているとか。
人間で言えば、ちょうど小学4年生くらいかな、
ちょっとおしゃまな女の子って感じです。



でもね、少しはお行儀良くする事も大切ですよ！
分かってるかな～。

きっとこれからも順調に成長し、素敵なレディーになってくれる事でしょう。

我が家の太陽

2007.03.21 Wednesday

我が家の太陽、ウエンディ、1月1日生まれの女の子です。

元旦に生まれるなんて、なんて目出度いんでしょう。
おかげで私は今年もお正月がありませんでしたけど・・・。

しっかりとした体に安定した性格の持ち主で、
この両親の子にしては、予想以上に明るい。
まるで春の太陽のよう。
我が家のリビングは彼女の明るさで笑顔にあふれています。

ご飯もしっかり食べて、トイレも上手にしに行きます。
立派だよ、ウエンディ。

あと1ヶ月ちょっとで新しいおうちに貰われて行きます。
飼い主さんになる方は、かれこれ2年待ってくださってありがとうございました。
ありがたいことです。



こんなちっちゃかったのにねえ

